

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅱ

教 科： 芸術 科 目： 音楽Ⅱ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（ 相葉 和香

使用教科書：（ ON2！ 音楽之友社 ）

教科 芸術 の目標：

【知 識 及 び 技 能】各科目の特徴について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

科目 音楽Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現するために必要な技術を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら、よさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	斉唱・新曲視唱 【知識及び技能】 曲にふさわしい発声や、身体の使い方などの技能を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 正しい音程や発声を生かして表現を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に練習に取り組み、技能を高めるための反復練習に取り組む	オリエンテーション 学习方法・科目の説明 姿勢・発声・発音について理解する 正しい音程間隔を身に付ける	○				【知識・技能】 曲想と音楽の構造とのかかわりについて理解している。身体の使用方の技能を身に付け表現している。 【思考・判断・表現】 正しい音やリズムで、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・協働的に反復練習をし、学習活動に取り組もうとしている	○	○	○	6
	楽典と聴音 【知識及び技能】 音楽の基本的な楽典知識を習得し定着させることで実技表現に繋げる。 【思考力、判断力、表現力等】 楽典的要素を生かした楽曲分析し、表現するとともに、聴音では正しい音やリズムの認識力を高めていく。 【学びに向かう力、人間性等】 歌う、演奏する、聴く実践の中で、大学受験に適應する能力を身に付ける。	音階についての理解 長音階と短音階 音階の中の音の役割り 調号と調 近親調の理解 リズム聴音 単旋律聴音				○	【知識・技能】 基本的な知識を身に付け応用できる力を身に付ける。 【思考・判断・表現】 得た知識を、関係調に関連させて考えたり、聴音に繋げて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・積極的に取り組み、楽譜の知識と関連付けて習得しようとしている。	○	○	○	17
	筆記テスト							○	○	○	1
2 学 期	歌曲・新曲視唱 【知識及び技能】 曲にふさわしい発声や、身体の使い方などの技能を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 正しい音程や発声を生かして表現を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に練習に取り組み、技能を高めるための反復練習に取り組む	イタリア歌曲 音色・リズム・音程の特徴を理解する。 言葉の抑揚や言語歌詞の発音の特徴に気を付けて表現を工夫する。	○				【知識・技能】 曲想と音楽の構造とのかかわりについて理解している。身体の使用方の技能を身に付け表現している。 【思考・判断・表現】 言語の言葉の意味に関係づけた表現をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に練習をし楽曲の特徴などを他者と共有し、協働して学習活動に取り組もうとしている	○	○	○	6
	楽典と聴音 【知識及び技能】 音楽の基本的な楽典知識を習得し定着させることで実技表現に繋げる。 【思考力、判断力、表現力等】 楽典的要素を生かした楽曲分析し、表現するとともに、聴音では正しい音やリズムの認識力を高めていく。 【学びに向かう力、人間性等】 歌う、演奏する、聴く実践の中で、大学受験に適應する能力を身に付ける。	音階についての理解 長音階と短音階 音階の中の音の役割り 調号と調 近親調の理解 リズム聴音 単旋律聴音 和声聴音				○	【知識・技能】 基本的な知識を身に付け応用できる力を身に付ける。 【思考・判断・表現】 得た知識を、関係調に関連させて考えたり、聴音に繋げて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・積極的に取り組み、楽譜の知識と関連付けて習得しようとしている。	○	○	○	10
	器楽 【知識及び技能】 曲にふさわしい音色や、身体の使い方などの技能を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 楽曲の特徴を理解し、表現の工夫をする。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に練習に取り組み、技能を高めるための反復練習に取り組む	ピアノおよび選択した楽器の練習				○	【知識・技能】 正しい奏法で正確に演奏することができる。 【思考・判断・表現】 音色や、楽曲の構成を感じ取り表現の工夫をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に練習をし楽曲演奏を通して、相互理解を深め相互評価を行う。	○	○	○	14
	実技テスト							○	○	○	2

[illegible]